

# 技術情報カード



●●●●●  
技術情報カード No.66  
平成16年10月

徳島県立農林水産総合技術センター  
森林林業研究所

〒770-0045  
徳島市南庄町5丁目69  
TEL 088-632-4237  
FAX 088-632-6447  
●●●●●

No.66

平成16年10月

## 環境緑化木—街路樹—

### はじめに

環境の世紀・時代といわれている今日、各地で「緑の街づくり」、「緑の基本計画」といった緑に関する事業施策が展開され工場や学校、公園等の緑化が進められています。

今さら申すまでもなく緑は、私たちの心を癒し私たちに潤いのある生活空間を提供してくれます。そのなかで道路緑化＝街路樹も、景観の形成や環境保全、防災等の面だけでなく、特に都市に生活する人々にとっては最も身近な緑として親しまれ、今や魅力的な街並みのシンボルとして、また、道路の重要な要素として必要不可欠な存在となっています。

そこで今回は、徳島市の街路樹の状況について紹介します。

### 調査方法

平成16年2月、徳島市内の主要幹線道路沿いの59か所の街路樹について、次の調査を行いました。

＜調査項目＞

- ①植栽樹種（常緑・落葉等の樹種特性）
- ②立地環境（日照条件、根元周囲の状況）
- ③管理状況（せん定強度、断幹状況）

### 調査結果

調査結果を街路樹一覧表と写真に示しました。

徳島市内主要幹線道路街路樹一覧表

No.	樹種名	科名	常緑・落葉	花木	高・中・低	国産・外来
1	クスノキ	クスノキ	常		高	国
2	ソメイヨシノ	バラ	落	○	高	国
3	ケヤキ	ニレ	落		高	国
4	アケビ	アケビ	落		高	国
5	ユリノキ	モクレン	落	○	高	外
6	アメリカカワ	マンサク	落		高	外
7	トウカエデ	カエデ	落		高	外
8	イチヨウ	イチヨウ	落		高	外
9	ゴウケシ	ニガキ	落		高	外
10	ナンキンハゼ	トウダクサ	落		高	外
11	シタレヤナギ	ヤナギ	落		高	外
12	タイワンアケ	マンサク	落		高	外
13	ワシントンヤシ	ヤシ	常		高	外
14	ホノバラ	ヤナギ	落		高	外
15	エンジュ	マメ	落	○	高	外
16	ハリエンジュ	マメ	落	○	高	外
17	フアラサス	スガノキ	落		高	外
18	キンモクセイ	モクセイ	常	○	中	外
19	カイヅカイブキ	ヒノキ	常		高	国
20	ホトノキ	ホトノキ	常		高	国
21	タブノキ	クスノキ	常		高	国
22	ナミズキ	ミスギ	落	○	中	外
23	ヒメロウ	ヤシ	常		高	外
24	ユズリハ	トウダクサ	常		高	国
25	アケニレ	ニレ	落		高	国
26	マテハンシ	ブナ	常		高	国





ケヤキ（徳島市紺屋町 県道136号線）



ホルトノキ（徳島市佐古 国道192号線）

植栽樹種では26種類の街路樹が確認され、その内訳は常緑樹9種、落葉樹17種、また、国産樹種10種、外来樹種16種で花木も6樹種ありました。

植栽樹種を国土交通省が2002年に行った全国の街路樹調査の四国上位10種と比較しますと、その中に8樹種（一覧表のNo1～3、6～8、10、26）が含まれていました。特徴的な点としましては、徳島市はホルトノキを市の木として制定（1984年）しており、4か所の調査地でこれが確認されたことです。また、今回の調査結果を平成5年度の概況調査と比較しますと、一覧表のNo20ホルトノキからNo26マテバシイまでの7樹種がその後、新たな植栽樹種として導入されていることが分かりました。

従来、街路樹には外来樹種の落葉高木が多く見られましたが管理面などの問題から、最近は常緑樹の導入が増える傾向にあるようです。

次に立地環境では、調査地が幹線道路沿いということもあり一部の箇所を除きほとんど（51か所）

が恵まれた日照条件下にありました。ただ、根元周囲の状況では、街路樹の大きさに比べ明らかに根囲い（植えます）が狭隘となったものも幾つか見受けられました。

管理面では、周囲の状況からやむを得ないと思われるものを除いても概ね強度のせん定や断幹が行われており、中にはサクラなど一般的にせん定を嫌う樹種でこれらの作業が行われていた箇所もありました。

## おわりに

緑豊かな生活空間や美しい街並み（街路樹）を創造していくためには、そこで生活する住民の理解と協力が最も重要であり、住民・行政・事業者それぞれが責任を持って総合的に取り組む必要があります。このことはホルトノキ（写真）が関係者間で、数回の検討会を経て街路樹として決定されたことから理解できます。また、多様な機能が評価される街路樹ですが反面、適正管理のために多くの経費と労力を必要とします。

今後はこれらの課題を解決するためにも、個々の路線にあった街路樹の在り方はもちろんのこと、計画樹立段階から関係者間の連携を密にし、お互いの共通認識の下で効率的・効果的に事業を展開していくことがより一層重要になってくると思います。また、結果的にそうすることが街路樹に「市民権」を与え、私たちの快適な生活空間の創造にも繋がると思います。

### 【引用・参考文献】

- 1) 厚生労働省職業能力開発局技能振興課（監修）（2001）造園施工必携、社団法人日本造園組合連合会
- 2) 愛知県農地林務部自然保護課（編集）（1993）緑化の手びき
- 3) 財団法人日本緑化センター（発行）グリーン・エイジNo342（2002）、No354（2003）

### ◆内容に関するお問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術センター

森林林業研究所 森林環境担当 吉村 武志

TEL 088-632-4237 FAX 088-632-6447